



webからすべての
コーナー分が
見られます

かんがえるって おもしろい！

がくしゅう ひかりのくに もっとしりたい！

5領域
10の姿
との関わり

人
環
言
3
5
6
9

今日の活動のねらい

- ★飛行機に関わる仕事に興味・関心を持つ
- ★世界について知り関心を持つきっかけにする

活動時間
30分

タイミング
進級まもない
クラスで

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい！ 4月号
p.2～9

社会
せかいへ レッツゴー！



活動の内容と流れ

飛行機に関わる仕事や世界の国々について
興味・関心を持って友達と話し合う

- 1ページずつ写真をじっくり見て、飛行機に関わる仕事について
気付いたこと、思ったこと、考えたことを話し合う
- 飛行機で行ける世界の国々について知っていることを話し合う
- 地図や地球儀でいろいろな国を知る



保育者の◆環境づくりと ○援助

世界についての本を用意する
(食べ物、言葉、家などの
違いがわかるもの)

飛行機のことをすぐ調べられるよう
乗り物図鑑などを用意しておく

○
1ページ1ページ写真をじっくり
見る時間を作り、子どもたちの
発見などをみんなで共有できるような
ことばかけをする

◆
世界地図や地球儀、
また国旗にも興味を持てるよう
国旗図鑑などを用意しておく

○
友達と共有し合えるように
話し合う時間を作る

活動後、振り返りのポイント

- ★飛行機に関わることへの興味・関心は深まったか
- ★世界についてどのくらい興味を持ったか
- ★乗り物、仕事への関心は高まったか

今日の活動のねらい

- ★言葉あつめを楽しみながら頭音の認識を深める
- ★ひらがなへの興味を広げる

活動時間
30分
タイミング
午後の活動

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっと しりたい! 4月号
p.10~15

言葉

なまえあそびを しよう!



活動の内容と流れ

頭音に意識を向け、名前遊びをする

保育者がまず年間企画表で1年間の課題の流れを確認する

→読み聞かせては、はじめに出てくる「きりん」「こあら」で

頭音を取り出す練習を丁寧にする

→絵本の中に出てくる言葉でも頭音が同じ言葉を集める

→自分の名前の頭音が何か子どもたちと考え、友達同士で自己紹介し合う

*詰まったときには「あいうえお表」を見るようにことばかけをする



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
頭音について知ることが
できるように黒板に書き出す

○
子どもたちの意見を聞き、
取り上げ、発表しやすい
雰囲気を作る

◆
隣の子とも一緒に楽しめるように
活動前には座席の配置を考える

○
関わりの浅い子同士でも
打ち解けられるように
保育者が仲立ちをする



活動後、振り返りのポイント

- ★頭音についての理解は深まったか
- ★友達と一緒に言葉を伝え合う楽しさを感じられたか

今日の活動のねらい

★いろいろな言葉で気持ちを表現する楽しさを味わう

★気持ちを表現する言葉を獲得する

活動時間

15分

タイミング
自由遊び前

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 4月号
p.16-17

気持ちを言葉に
たのしいって どんな きもち?



活動の内容と流れ

「楽しい」気持ちの理由を考え、互いに発表したり共感したりする

導入として「楽しい」より「○○があって楽しい」の方がよく伝わってわかってもらえるということに共感する

→がくしゅうひかりのくにをじっくり読み取る

→各自で好きな言葉について話す（本の中から選ぶ）

→その思い、なぜ選んだのかを自分の言葉で伝え、発表し合う



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
言葉を黒板に書いていき、
どんな言葉があるかわかる
ようにする

○
様々な言葉が出て素敵だということを
話し、子どもの言葉に共感する

◆
発表しやすい雰囲気作りをするため、
保育者自身も見本となる

○
新しい表現が出てきたときにも
その思いを汲み取り、認める



活動後、振り返りのポイント

★様々な言葉が出てきていたか

★一人ひとりが積極的に参加していたか

★みんなて認め合うことができていたか

今日の活動のねらい

- ★光と影の不思議に気付く
- ★興味を持って試行錯誤することを楽しむ

活動時間
30分

タイミング
よく晴れている日の
午前中

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっと しりたい! 4月号
p.18~23

自然・科学
おばけちゃんの だいへんしん!



活動の内容と流れ

影のでき方について友達と予想を楽しみ実際に試してみる

- かくしゅうひかりのくにを読み、影遊びについて興味を持つ
- どうやったら影ができるか考えを出し合う(クラス)
- 3人組になり、どこで試してみるか、どんな影になるか想像して画用紙またはコピー用紙などに書いておく(3人で1つだけ・紙も持っていく)
- 外に出て試す
- どんな影ができたか絵や言葉にして持っていった紙に書く
- クラスに戻って発表する



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
画用紙、またはコピー用紙を
用意しておく

○
カラーセロハン、ビニール袋
などを用意しておく
その他3人組で話して出てきたら
その都度用意をする



◆
晴れの日、くもりの日、同じ場所で
試してみて、影の違いに気付ける
ようにする

○
グループでしっかり関われる
ように声をかける
クラスで発表のときは「どのように」
「誰が」など必要に応じてアドバイス
していく

活動後、振り返りのポイント

- ★光の当たり方、影のでき方に気付いたところは?
- ★予想していたものと実際にできた影について
- ★グループでの活動で関わりが持てたか

今日の活動のねらい

- ★仲間集め、一対一対応の認識を深める
- ★シール貼りを楽しみながら数に関心を持つ

活動時間

30分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 4月号
p.24~33

数

いちごの いっちゃんの
なかま、あつまれ!



活動の内容と流れ

お話を楽しみながら仲間集め・一対一対応について認識を深める

保育者がまず年間企画表で1年間の課題の流れを確認する

→保育者の絵本でお話を楽しむ

→各自絵本を1ページずつ見ながら、仲間集めや

一対一対応の認識を確認していく(絵の読み取りをじっくりする)

→シール貼りを楽しみながら「ちょうど」「余る」などの表現の仕方を知る



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
1ページずつ絵の読み取りが
できるようにじっくりと
読み進めていく

◆○
友達と一緒に仲間集めや
一対一対応をしてみるなど
楽しみながらできるように工夫する



◆
子どもたちの声を拾いやすいように
机の配置等にも気を配る
部屋にあるもので仲間集めをして
書き出してみる

○
シールを貼る様子をよく観察し
友達の様子も言葉にすることで
お互いに興味を持てるように
する

活動後、振り返りのポイント

- ★数について楽しく取り組み、親しめたか
- ★友達同士のつながりも育むことができたか
- ★苦戦していた子どもはどことが難しそうだったか分析し、今後の関わりに活かす